

第314回
株式会社テレビ新潟放送網
放送番組審議会

- 1 開催日時 平成27年1月26日(月)午後16時30分より
- 2 開催場所 新潟グランドホテル 会議室
- 3 委員総数 9人 出席委員9人

出席委員

豊口 協	委員長	大矢 純一	副委員長
村松 敦	委員	新谷 達夫	委員
碓井 真史	委員	原田 健一	委員
大久保 千春	委員	田村 明子	委員
尾畑 留美子	委員		

会社側出席者

代表取締役社長	室川 治久
取締役編成局長 兼 番組審議会事務局長	須佐 博樹
取締役(報道・制作・国際担当)	平野 真一
執行役員報道制作局長	稲田 裕之
報道制作局制作部長	小木 裕介
報道制作局 合評番組プロデューサー	羽田 朗

事務局	増子 隆	水野 明子
-----	------	-------

4 議 題

1) 番組合評

「NNNドキュメント'14

R I C E W A R S アジアの巨大市場を攻略せよ」

[放送：11月23日（日）25:29-25:59]

(説明：番組プロデューサー 羽田 朗)

2) 会社報告

①11月と12月の視聴者の意見 (報告：番組審議会事務局)

②講じた措置、公表など定例報告等 (報告：番組審議会事務局)

3) その他

5 審議の概要（委員の意見）

会社側から、まず、日本テレビ系列の報道ドキュメンタリー番組である「NNNドキュメント」についての説明があり、今回の合評番組は、2年前のNNNドキュメントで放送した「海を渡る米農家」の続編であり、香港などアジアの大消費地をめがけて、新潟・中国・アメリカの米農家がしのぎを削り、うまい米をいかに安く作るかという戦いを描いたものであるという説明があった。

- 日本でなくても良い米が作られるようになってきた時代であるからこそ、日本の米がどう違うのかを、作り手自身もあらためて見直してゆかなくてはいけないということを、作り手

に対して問いかける、いい番組であった。

- 和食がユネスコ文化遺産になり、クールジャパンも相まって日本の食文化が海外へ出ていく流れの中、また日本発の国産ウイスキーのドラマも話題になったり、若者が日本のモノづくりや食文化に興味を持ち始めているというこの時期に適切なテーマであった。
- ナレーションのトーンが全体的に暗く、重く、もう少し「元気に立ち向かう」というような印象のものの方がよかったのではないか。
- 絶望的な気持ちで番組を何度もみた。日本の米の将来への希望を見出せるように、がんばっている人たちの熱い想いを出してもらえば、よりよかった。
- 中心人物の他に2人のサイドストーリーもあり、30分という枠では詰め込みすぎで説明しきれず、わかりにくくなっている。もっと絞ってわかりやすくしてもよかったのではないか。
- 日本の農業をいかに守るかではなく、戦うことが必要だという「RICE WARS」というタイトルはいいなと思った。番組の最後でもそのような盛り上げがあった。
- 民間と県と国の三者の関係がよくわからなかった。
- 30分の中で色々な動き、話が出てきて、詰め込みすぎの感があったので、1時間の番組でもう一度見たいと思った。また、その場合には、日本米の海外の日本食との相性やそのレストランの料理人の声なども盛り込んだらどうか。
- このような番組を全国で放送し、食糧について考える、米について考えるというきっかけを広く与えることができたという観点から大変意義があった。

- 非常に驚くような、自分の知らない数値・データで日本の米の現状をたくさん盛り込んであり、大変勉強になった。
- 農政の変遷や枠組み、日本の米市場の世界での位置づけなどの情報を補足すると全体像が把握でき、わかりやすい内容になったのではないか。
- これまでの農業政策、そして農協のあり方など、今まさに農業の転換期に来ていることを実感した。昔と今の違いを思うとともに、もっとお米を食べないといけないなと思い直した。
- 過去の農政、特に保護政策が正しかったか、問題があったのではないか、ということを考えるべきだと感じた。行政に、それを問うという意味で大変良い番組であった。

6 会社側の報告

1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

1 1月…… 91件

1 2月…… 261件

2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会(平成26年12月1日)から昨日(平成27年1月25日)まで、総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

7 審議機関の答申または意見(前回審議会)に対してとった措置

- 1) 前回、第313回審議会では、「つなぐ絆 明日へ～中越地震 ひき裂かれたムラの10年～」を審議いただきました。

委員の意見は議事概要にて記者制作スタッフ、社内に周知しました。

2) 番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧しました。

8 今回の第314回放送番組審議会の公表

- 1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に議事概要の書面を準備しています。
- 2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。
- 3) インターネットのTeNYホームページに議事概要を掲載します。

9 参考事項（委員への配布資料）

- ・11月及び12月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
- ・民間放送新聞（12/3、13、23、1/3号）
- ・BPO報告 NO.143、144

以上